校内研修「道徳科の授業づくり」のミニ研修コンテンツ活用事例

１　読み物教材　中学校③「二通の手紙」

２　参　加　者　中学校教職員12名　　空知教育センター職員６名

３　研修形態　グループ（１グループ３～４人）

□　コンテンツを活用した際の研修の成果など

|  |  |
| --- | --- |
| ①　演習で出された中心発問（○）  設定の理由（・） | ○　あなただったらどちらの手紙を大切にしたいですか。  　・「家族からの手紙」と「懲戒処分」のどちらを大切にしたいか意思表示させ、その理由も考えさせるため。その上で、「家族からの手紙」の裏には「優しさ」があるが、「懲戒処分」の裏にはどんな言葉が当てはまるかを考えさせることで、ねらいに迫らせるため。（例：社会のルールを守る、命を守る、生活を守るなど） |
| ②　受講者の声（○） | ○　パワーポイントの資料について、学習指導要領の要点が整理されており、分かりやすかった。  ○　発問を考え、交流することで、教材文に対する様々なアプローチ方法があることが理解できた。 |
| ③　成　果（○） | ○　展開前半で自分の立場を明確に示し、その理由を述べさせることで登場人物の心情を自分との関わりとして考えさせ、心を揺さぶる効果があった。 |
| ④　課　題（●）  改善策（・） | ●　全体的に教材文の理解に終始している。  ・実生活での例をあげるなどして、教材から離れ、自分事として考えを広げられるような発問を加えることが考えられる。  ●　考えの交流が、全体発表だけである。  ・グループやペアなど場面に応じて工夫することが考えられる。 |

□　道徳科の実践例（中学校③）板書例

